

AIを活用したスマート水産に関する最新の研究動向、南海トラフにおける当機構の最新の研究トピックス、水中ロボットの利活用例など
皆様の関心が高そうな選りすぐりの講演を用意しました。
また、昨年12月に横浜で行いました
AUVの技術開発動向に加え、
国のAUV戦略の検討状況の説明も予定しています。

令和5年度 第2回

賛助会セミナー 懇談会

申込期限 令和6年1月12日(金)

令和6年1月19日(金)
14:30-18:30

@大阪(梅田)ブリーゼプラザ
カンファレンスルーム
[大阪市北区梅田2-4-9 ブリーゼタワー8階
<https://www.breeze-plaza.com/lphall/>]



《付加価値情報創生部門講演》

定置網内の魚数推定技術について

付加価値情報創生部門 地球情報科学技術センター データサイエンス研究グループ 吉田 毅郎



《海域地震火山部門講演》

南海トラフゆっくり滑り断層観測監視計画について

海域地震火山部門 地震津波予測研究開発センター 観測システム開発研究グループ GL 荒木 英一郎



《海洋機能利用部門講演》

物理探査における水中ロボットの利活用

～ 海底資源探査を例にして～

海洋機能利用部門 海底資源センター 物理特性グループ GL 笠谷 貴史



《経営企画部講演》

海外の無人探査機の技術開発動向について

経営企画部 未来戦略課 課長 牧 武志

日時 令和6年1月19日(金) 14:30~18:30 (開場 14:00)

場所 大阪(梅田)ブリーゼプラザ カンファレンスルーム (大阪市北区梅田2-4-9 ブリーゼタワー8階) <https://www.breeze-plaza.com/lphall/>

申込期限 令和6年1月12日(金)

SCHEDULE

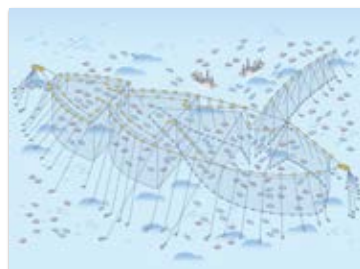
14:00~ 受付(開場)

14:30 開会挨拶 理事 森本 浩一

《付加価値情報創生部門講演》
定置網内の魚数推定技術について
付加価値情報創生部門 地球情報科学技術センター
データサイエンス研究グループ 吉田 毅郎

14:35

置網漁業は古来より現在まで続く漁法であり、生産性の向上が望まれております。スマート水産と呼ばれる人工知能などの活用が期待され、事前に定置網内の魚類を把握できれば、より効率的な操業につながります。本発表では魚群探知機や海洋環境のデータから定置網内の魚数推定を行う研究開発(特許出願中含む)について紹介します。伝統的な漁法を気候変動の影響で漁獲に変化が生じる状況下でも、最新技術を活用して持続的かつ魅力的な産業にすることを目指します。



《海域地震火山部門講演》
南海トラフゆっくり滑り断層観測監視計画について
海域地震火山部門 地震津波予測研究開発センター
観測システム開発研究グループ GL 荒木 英一郎

15:10

令和5年11月に行われた地球深部探査船「ちきゅう」航海によって、南海地震想定震源域では1基目となる「ゆっくり滑り」をとらえるための観測センサーを海底約500mの地点に設置しました。今回は、浅部ゆっくり滑り等のプレート境界滑り現象の実態を広域かつ高感度に把握することを目指す「南海トラフゆっくり滑り断層観測監視計画」について説明します。また、光ファイバーセンシングを活用した最新の海底地殻変動の観測技術についても説明します。

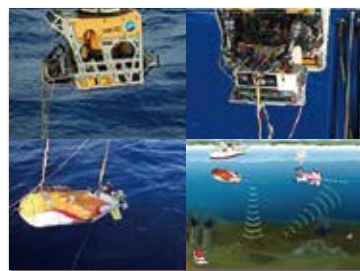


15:45 休憩

《海洋機能利用部門講演》
物理探査における水中ロボットの利活用 ~海底資源探査を例にして~
海洋機能利用部門 海底資源センター 物理特性グループ GL 笠谷 貴史

15:55

水中ロボットはROVとAUVに大きく分けられます。自律型ロボットであるAUVの発展がめざましく、物理探査への利用も始まっており、それぞれのロボットの利点と用いる物理探査法の特徴をうまく合わせる事が重要です。海底熱水鉱床においては、電気に関するパラメータを用いる探査が有効で、従来からの比抵抗に関する情報に加え、自然電位を用いた探査は賦存域の特定と成因研究において重要な観測項目となっています。講演では、海底熱水鉱床の探査事例を中心に、物理探査の水中ロボットの利活用について紹介します。



《経営企画部講演》
海外の無人探査機の技術開発動向について
経営企画部 未来戦略課 課長 牧 武志

16:30

未来戦略課は、国として進めるべき課題を具体的に構想し、提言をまとめ、国の施策等に実現するために昨年設置された部署です。現在は主に国のAUV戦略に貢献するための情報収集や検討を進めています。昨年12月に横浜で行いました技術交流会での説明に加え、海外の無人探査機の技術開発動向や国のAUV戦略の検討状況等をご説明しつつ、皆様と意見交換を行いたいと思っています。

16:55 閉会挨拶 海洋科学技術戦略部 部長 亀井 雅彦

17:00 懇談会 (~18:30)

■ 申込方法

Googleフォームからの申し込み

以下URLもしくはQRコードからアクセスしお申し込みください。

<https://forms.gle/8sHbMpvCGF4KpEXZ9>



■ 会場へのアクセス(最寄駅)

・大阪メトロ四つ橋線 西梅田駅(南改札/10番出口)

・JR大阪駅(桜橋口)

・JR東西線 北新地駅(西改札口/11-4出口)

Google Map ▶



【お問い合わせ・ご連絡先】

国立研究開発法人海洋研究開発機構東京事務所 賛助会事務局 (担当: 笠谷/小原)

電話: 03-5157-3900 E-mail: sanjokai@jamstec.go.jp



JAMSTEC
Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology

国立研究開発法人
海洋研究開発機構